別紙様式6

令和5年度　　学 校 評 価 表　　（ 中間評価 ・ 最終評価 ）　　東広島市立川上小学校

学校教育目標	自ら学び　共に学び　心豊かでたくましい子	経営理念	児童と教職員がそれぞれ自分らしさを発揮して充実した楽しい学びを創り出し，将来にわたって学び続ける人材を育てる。（川上で育ち学んでよかったと思える学校）

評価計画							自己評価					学校関係者評価（学校運営協議会による評価）		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値 10月	達成値 2月	達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
確かな学力	1	○かかわり合いながら学びを深める児童を育成する。	ユニバーサルデザインの視点等に基づいた授業改善を行う。	①かかわり合いながら学びを深める児童を育成するため，算数科を中心にユニバーサルデザイン（共有化・構築化）の授業を取り入れる。 ②日頃の授業を大切にしたり，模擬授業を実施したりする中で授業力を向上させる。	・児童の授業満足度の肯定的回答を８０％以上にする。（児童アンケート） ・研究授業（全体研）の授業評価の平均を３．０以上にする	80%								
			年間スケジュールや児童実態に基づいて学力の定着・向上を図る。	学力補充時間等を意図的・計画的に実施するとともに，児童の課題に応じて個への支援を図る。	・単元末テスト（算数）の平均点８０点以上の児童を７５％以上にする。	75%								
豊かな心	2	○どのような行動が適切か，考えて行動する児童を育成する。	自分や友達を大切にしたり，人の役に立つことに喜びを感じたりする児童を育成する。	①児童の良さや可能性を発見する「すてきだねカード」を記入する取組等を行う。 ②人や社会に貢献することを目指して「世のため人のため」実践を行う。今年度は学校，地域，日本全国に広げていく。	・「自分の存在を大切に思う」の項目と「友達を大切に感じる」の項目の肯定的回答の平均を９０％以上にする。（児童アンケート） ・「人の役に立つ行動をしている」の肯定的回答の平均を９０％以上にする。（児童アンケート）	90%								
			学校・家・地域において気持ちを込めたあいさつや感謝の言葉を伝えることができる。	「地域の方に挨拶」や「感謝のありがとう」について，達成できたかどうか振り返りを行う等，学級実態に応じた取組を行う。	・「進んであいさつをする」の項目の肯定的回答の平均を９０％以上にする。（児童アンケート）	90%								
健やかな体	3	○楽しみながら運動能力を高め，心も体も元気な児童を育成する。	基礎体力・運動能力の向上を図る。	課題項目の「瞬発力」「敏捷性」を高めるために，日々の授業改善を図ったり，継続的な体力つくりを推進したりする。	・体力・運動能力向上の取組後，「瞬発力」と「敏捷性」の１１月以降の測定値が新体力テスト時の記録を上回る児童を８０％以上にする。	80%								
			健康の保持増進への意識を高め，校内外での生活力を高める。	感染症の危険性を認識させて，手洗いを励行させる。（外遊び後，トイレ後，給食前，掃除後）また，給食のマナーを徹底させる。	・「手洗い」「食事のマナーを守って給食を食べる」を習慣化できた児童を９５％以上にする。	95%								
信頼される学校	4	○信頼される学校・開かれた学校づくりを進め，保護者や地域社会との連携を深める。	地域への発信を通して信頼度を高める。	学校だより，学年通信を月１回以上発行，学年のＨＰでトピックス（新着情報）月１回以上更新し，学校の教育活動が伝わる情報発信を積極的に行う。	・保護者の川上小学校への信頼度の肯定的評価の平均を９０％以上にする。（保護者アンケート）	90%								
			働き方改革に積極的に取り組む。	市教委の目標設定値（学校教育レベルアッププラン）を基準として個々に目標値を設定し，目標達成のための方策に取り組む。	・目標達成のための手立てが適切で効果的であったと考える職員を８０％以上にする。	80%								

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価
4…目標を上回って達成　　3…目標どおりに達成
2…目標をやや下回って達成　　1…目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価（学校運営協議会による評価）
A…とても適切である　　B…概ね適切である
C…あまり適切でない　　D…全く適切でない
（N…判定できない）